



学校教育目標：心豊かな子 たくましい子 自ら学ぶ子

たくさんの温かい眼差しで見守られる原山っ子

校長 高野 英俊

一雨ごとに秋の気配が強くなってくる時季ですが今年も猛暑から秋冷が一気にきたように感じます。そんな気候の変化にも負けることなく原山っ子たちは、とても元気に学校生活を送っています。これも、日々子どもたちを見守っていただいている保護者、地域の皆様のおかげと心より感謝いたします。先日実施した3年生対象の子ども自転車運転免許講習会でも、浦和東警察署、交通安全協会、交通安全保護者の会等地域諸団体の多くの皆様にお越しいただき、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな御指導をいただきました。おかげで、全員に自転車運転免許をいただけ、子どもたちも大喜びでした。



「原山小のシンボルツリー イイギリ」

子どもたちを見守っていると言えば、本校のシンボルツリーも当てはまるかもしれません。なかよし学級、1年生、3年生の昇降口の近くにある立派な大きな2本のイイギリの木です。「イイギリ」は、大きなものは高さ20メートルになる落葉高木で、春には黄緑色の花が咲き、秋には赤い実をつけます。漢字で書くと「飯桐」で、その大きな葉でご飯を包んだのでその名がついたと言われていています。ご飯を包む葉をつけるイイギリの木、本校のシンボルツリーにふさわしいと思います。今日も熟した赤い実をブドウの房のように実らせ、凜として立ち、校庭で遊ぶ子どもたちを見守っています。そんな2本の高木を見ると、イイギリを本校シンボルツリーにした先人の方々の思いを受け継ぎ、私たち教職員を始め、子どもたちにかかわるたくさんの大人がご飯を優しく包む時のような温かい眼差しで原山っ子を見守らねばならないと心が引き締まります。

ところで、このところさいたま市内で交通事故が多発しています。市長さんが市内全域に「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令したほどです。小学生においては、特に自転車による事故が心配されます。先日の子ども自転車運転免許講習会でも、子どもが自転車を運転する際は、ヘルメットを着用することが重要とのことでした。交通安全の視点でも、子どもたちへの指導、見守りをより強化しなければならないと考えます。

10月は校外学習や校内音楽会などの大きな行事もあり、教職員一同、子どもたち一人ひとりをさらによく見て、指導に当たってまいります。保護者、地域の皆様には、これまでと同様の温かい眼差しで、本校教育活動への御理解御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。